



ENVI 4.3 リリースノート

- [ENVI 4.3 新機能](#)
- [ENVI 4.3 における既知の問題](#)
- [ENVI 4.3 で修正された問題](#)

ENVI 4.3 新機能

ENVI 4.3 のリリースにおける新機能の詳細は、”*What’s New in ENVI 4.3*”マニュアルを参照してください。このマニュアル（PDF 形式）は、ENVI ウェブサイト（www.itvis.com/envi）、ENVI オンラインヘルプ、およびソフトウェア添付のデータ CD #3 より入手することが可能です。

ENVI 4.3 における既知の問題

ENVI Zoom : グラフィックスセグメントを格納した NITF ファイルに対応しない
現在のところ ENVI Zoom のインターフェースは、グラフィックス（注釈）セグメントの表示に対応していません。ENVI Zoom で、グラフィックスセグメントを格納した NITF ファイルを選択すると、目的とする注釈を表示するには ENVI の標準ディスプレイウィンドウを開くよう指示されます。

ノードの数が多いと、Decision Tree の分類子を実行できない
多数のノードを含む Decision Tree テンプレートの復元や編集を試みると、ENVI は応答しなくなります。

スペクトル範囲が不十分で 0.94 マイクロン前後を含まない場合、FLAASH を実行できない
入力画像のスペクトル範囲が不十分で 0.94 マイクロン前後まで含まない場合、ENVI は正常に動作しません。

回避方法 : FLAASH Atmospheric Correction Model Input Parameters ダイアログで、Water Retrieval トグルボタンを「Yes」に設定して、**Water Absorption Feature** ドロップダウンリストから 820 nm を選択します。



NITF/NSIF モジュールが、画像セグメントに組み込まれた JPEG 2000 に対応しない
ENVI の NITF/NSIF モジュールは、JPEG 2000 ファイルが組み込まれた NITF 画像セグメントにこれまでのように対応しません。ただし、JPEG 2000 のコードストリームには対応します。

ENVI Zoom : ブレンドやフリッカー、スワイプ中におけるマウスの操作
イメージウィンドウでブレンドやフリッカー、スワイプの動作中にマウスを動かすと、パフォーマンスが低下することがあります。

ENVI Zoom : ポータルのサイズ変更
ポータルのサイズをきわめて小さな範囲に合わせて変更すると、ポータルツールバーボタンの利用や、ポータルの操作が困難になることがあります。

"bad"の表示が付いたブルーバンドを含む画像では、FLAASH を実行できない
ブルーバンドが Bad Band に登録されている画像で FLAASH を実行すると、ENVI は正常に動作しません。

回避方法 : FLAASH で使用する前に、入力画像のヘッダの Bad Bands List で、すべての入力バンドの表示を good に変更します。

Empirical line キャリブレーションの実行で、スペクトルをサブセットできない
Empirical Line キャリブレーションの実行時に、スペクトルサブセットが正常に動作しません。

回避方法 : Empirical Line キャリブレーションツールを実行する前に、入力ファイルをスペクトルでサブセットします。

ENVI Zoom : Chip from Display によるアーティファクト
ディスプレイが画像の周縁部に位置している場合、**Chip from Display** を使用すると出力画像の周縁部に細長いアーティファクトが現れることがあります。

ENVI Zoom : タイル境界アーティファクト
画像をスムージングすると、タイル境界にアーティファクトが現れることがあります。

ENVI Zoom : レイヤの名前変更
基本投影を変更した場合、またはポータル内で右クリックして **Load New Layer** を選択した場合、レイヤの名前を変更しても新しい名前を保持できません。



バンド数が 224 を超えるタイル画像で、FLAASH を実行できない
224 を超えるバンドを有するファイルに対して FLAASH テンプレートを復元すると、ENVI が正常に動作しません。

回避方法：テクニカルサポートに連絡して、4.3 パッチを入手してください。

ENVI Zoom：ポータルを開いて、すべてのレイヤを削除する
ポータルを開いてすべてのレイヤを削除しても、Layer Manager の更新が行われません。

回避方法：Layer Manager を分離して、内容を更新します。



ENVI 4.3 で修正された問題

ふるい分類の結果

ふるい分類 (sieve classed) の結果は、タイルサイズによる影響を受けません。

ESRI GRID ファイルを開く

どのような設定においても、ESRI GRID ファイルを正常に開くことができます。

3D 測定ツールによる出力の属性

DEM Extraction Module の 3D 測定ツールから高度点を ASCII に出力しても、属性を保持できます。

NOAA-17 SST の結果

ENVI の海面温度 (SST) キャリブレーションコードのアップデートにより、2005 年 4 月 28 日以降にフォーマットが変更された NOAA-17 画像に対しても動作します。

IRS AWifs と LISS-IV ファイル

AWifs と LISS-IV データを格納した IRS ファイルに対しても、正常にファイルを開いてセンサータイプを認識します。

ユーザ定義の save_add ディレクトリからのルーチンのリストア

IDL パスに含まれていないユーザ定義の save_add ディレクトリからも、ルーチンをリストアします。

SPOT-5 (M+1) プロダクト

SPOT-5 (M+1) プロダクトを正しく幾何補正します。

RADARSAT 幾何補正による GCP ファイル

RADARSAT 幾何補正プロセスの一部として、GCP ファイルを出力します。

NITF/NISF モジュール：チップングによる ICORDS 値の変化

旧バージョンの ENVI では、NITF/NISF モジュールは与えられた地図情報により、出力の際に ICORDS 値が変化することがありました。ENVI 4.3 の NITF/NISF モジュールでは、入力した NITF ファイルの ICORDS 値をそのまま保持します。

ハイレリーフ地形での DEM 抽出

パラメータの追加によって、ハイレリーフ地形での DEM 抽出中の結果が改善されています。



VRML ファイルの出力

VRML ファイルに対して、画像範囲、カラーテーブル、高度情報を正しく出力します。

CAI 植生インデックス算出

セルロース吸収インデックス (CAI) を算出する公式を更新しました。

大きな画像での FLAASH タイリング

大きな入力ファイルで、FLAASH モジュールをタイルモードで実行しても正常に動作します。

MERIS 低減分解能データの幾何補正

MERIS 低減分解能データファイルを、正しく幾何補正します。

Spectral Library Builder FWHM の値

ENVI の Spectral Library Builder には、入力ファイルからの半値全幅 (FWHM) 値が適用されます。

お問い合わせ先：

ジクー・データシステムズ株式会社

画像ソリューションユニット

TEL : 03-3556-3048 FAX : 03-3556-3001

email : itt@jicoux.com